

大都市データ

川崎市をはじめ20の政令指定都市と東京都区部の21大都市は「大都市統計協議会」を設置して、各都市の各種統計情報を集約し、毎年「大都市比較統計年表」を作成、発行しています。

ここでは、「大都市比較統計年表(平成28年)」などをもとに、主要な統計情報からみた川崎市及び各都市の特徴をまとめました。



1

人口・世帯数及び面積

●人口密度は高く大都市で第3位

都市名	政令指定都市への移行年月日	区数	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(k㎡)	人口密度(人/k㎡)	昼夜間人口比率	平成29年度当初予算額(百万円)
1 東京都区部	昭和31.9.1	23	9,467,490	4,965,902	626.79	15,105	129.8	6,954,000
2 川崎市	昭和47.4.1	7	1,503,690	716,470	144.35	10,417	88.3	1,762,595
3 大阪市	昭和31.9.1	18	2,713,157	1,392,900	225.21	12,047	131.7	1,645,892
4 名古屋市	昭和31.9.1	16	3,733,234	1,673,662	435.29	8,576	91.7	1,171,188
5 さいたま市	平成15.4.1	10	2,314,125	1,088,175	326.45	7,089	112.8	530,100
6 堺市	昭和47.4.1	7	1,286,082	553,673	217.43	5,915	93.0	415,100
7 福岡市	平成18.4.1	7	834,267	354,720	149.82	5,568	93.6	832,795
8 神戸市	昭和47.4.1	7	1,567,189	792,526	343.39	4,564	110.8	441,500
9 相模原市	平成4.4.1	6	975,140	428,559	271.77	3,588	97.9	781,228
10 熊本市	昭和31.9.1	9	1,532,153	714,544	557.02	2,751	102.2	289,300
11 札幌市	平成22.4.1	3	722,157	318,888	328.91	2,196	88.3	562,849
12 仙台市	昭和38.4.1	7	950,646	428,927	491.95	1,932	102.3	394,790
13 東京都市	平成24.4.1	5	739,858	320,730	390.32	1,896	102.2	766,850
14 京都市	昭和31.9.1	11	1,472,027	715,904	827.83	1,778	109.0	996,500
15 仙台市	昭和47.4.1	10	1,962,918	943,055	1,121.26	1,751	100.4	547,633
16 仙台市	平成元.4.1	5	1,086,377	508,889	786.30	1,382	106.1	645,603
17 広島市	昭和55.4.1	8	1,198,555	542,147	906.68	1,322	101.4	397,500
18 新潟市	平成19.4.1	8	804,152	335,948	726.45	1,107	101.5	314,386
19 新潟市	平成21.4.1	4	721,294	323,622	789.95	913	103.6	326,400
20 浜松市	平成19.4.1	7	796,114	315,690	1,558.06	511	99.3	311,600
21 静岡市	平成17.4.1	3	699,087	290,561	1,411.90	495	103.0	

*人口・世帯数は平成29年10月1日現在。但し、新潟市と岡山市の世帯数は平成29年9月末現在の住民基本台帳人口を記載

*昼夜間人口比率は平成27年国勢調査。

*平成29年度当初予算額の東京都区部は、「都」の数値。

データチェック

人口及び世帯数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順となっており、川崎市は人口第8位、世帯数第9位となっています。また、面積が最も広いのは浜松市で、次いで静岡市、札幌市の順となっており、川崎市は最も狭く第21位です。人口密度では東京都区部が最も高く、次いで大阪市、川崎市の順となっています。

昼夜間人口比率をみると、大阪市が最も高く、次いで東京都区部、名古屋市の順となっています。一方、昼夜間人口比率が最も低いのは川崎市と相模原市で、次いで横浜市の順となっています。

2

人口動態

●自然増加数が大都市で第2位

(単位：人)(平成28年中)

都市名	人口増加 (自然増加+社会増加)	自然動態			社会動態				人口増加 比率 (人口増加数/人口)
		自然増加	出生	死亡	社会増加	市(都)外との移動	市(都)内移動	その他の増減	
1 東京都区部	97,250	5,518	83,446	77,928	91,732	55,698	▲1,012	37,046	1.04%
2 川崎市	14,441	4,167	14,722	10,555	10,274	11,221	-	▲947	0.97%
3 福岡市	13,969	3,198	14,794	11,596	10,771	11,913	20	▲1,162	0.90%
4 広島市	2,827	596	10,681	10,085	2,231	2,369	-	▲138	0.24%
5 さいたま市	10,938	555	10,772	10,217	10,383	10,481	-	▲98	0.86%
6 仙台市	2,014	384	9,012	8,628	1,630	1,928	2	▲300	0.19%
7 熊本市	▲1,380	▲54	6,883	6,937	▲1,326	▲1,326	...	...	▲0.19%
8 岡山市	1,037	▲230	6,357	6,587	1,267	2,018	-	▲751	0.14%
9 相模原市	338	▲326	5,324	5,650	664	662	-	2	0.05%
10 千葉市	1,183	▲993	7,199	8,192	2,176	2,221	-	▲45	0.12%
11 堺市	▲1,930	▲1,085	6,945	8,030	▲845	▲452	-	▲393	▲0.23%
12 浜松市	▲1,134	▲1,131	6,783	7,914	▲3	351	-	▲354	▲0.14%
13 名古屋市	9,608	▲1,351	20,251	21,602	10,959	11,711	208	▲960	0.42%
14 横浜市	6,401	▲2,084	29,749	31,833	8,485	8,595	90	▲200	0.17%
15 静岡市	▲3,143	▲2,577	5,200	7,777	▲566	▲381	-	▲185	▲0.45%
16 新潟市	▲2,809	▲2,628	5,962	8,590	▲181	▲44	-	▲137	▲0.35%
17 北九州市	▲5,034	▲3,119	7,732	10,851	▲1,915	▲2,623	975	▲267	▲0.53%
18 京都市	▲1,176	▲3,134	11,180	14,314	1,958	2,708	22	▲772	▲0.08%
19 神戸市	▲2,320	▲3,594	12,124	15,718	1,274	2,340	-	▲1,066	▲0.15%
20 札幌市	5,662	▲4,408	14,189	18,597	10,070	9,899	-	171	0.29%
21 大阪市	10,214	▲5,963	22,889	28,852	16,177	19,429	...	▲3,252	0.38%

*大阪市と熊本市は「市外との移動」に「市内移動」を含む。

データチェック

平成28年1年間の川崎市の人口増加数は14,441人となっています。
自然増加数が4千人を超えているのは、東京都区部と川崎市だけです。

3

年齢別人口

●平均年齢は大都市で最も低い

(単位：人、%) (平成27年10月1日)

都市名	総数	年齢階級別						平均年齢
		15歳未満	構成比	15～64歳	構成比	65歳以上	構成比	
1 川崎市	1,475,213	184,135	12.8%	972,976	67.7%	279,482	19.5%	42.8
2 福岡市	1,538,681	199,923	13.3%	996,401	66.0%	312,331	20.7%	43.1
3 仙台市	1,082,159	129,309	12.5%	674,873	65.0%	234,360	22.6%	44.3
4 いち市	1,263,979	164,722	13.2%	799,279	64.0%	284,138	22.8%	44.3
5 広島市	1,194,034	166,427	14.2%	730,388	62.1%	279,311	23.7%	44.4
6 東京都区部	9,272,740	1,002,130	11.0%	6,088,409	67.0%	1,997,870	22.0%	44.5
7 京都市	719,474	97,043	13.7%	435,475	61.5%	175,013	24.7%	44.7
8 相模原市	720,780	88,850	12.4%	454,821	63.6%	171,040	23.9%	44.8
9 熊本市	740,822	103,433	14.1%	452,822	61.7%	177,325	24.2%	44.8
10 名古屋	3,724,844	468,535	12.7%	2,368,291	64.0%	865,490	23.4%	44.9
11 名古屋市	2,295,638	282,497	12.5%	1,429,795	63.3%	545,210	24.2%	45.0
12 千葉市	971,882	122,062	12.7%	597,580	62.4%	238,213	24.9%	45.4
13 大阪市	2,691,185	295,298	11.2%	1,682,798	63.6%	668,698	25.3%	45.8
14 大堺市	839,310	112,964	13.6%	495,966	59.5%	224,064	26.9%	45.8
15 京都市	1,475,183	162,141	11.3%	886,422	62.0%	381,132	26.7%	45.9
16 札幌市	1,952,356	221,013	11.4%	1,235,516	63.7%	483,534	24.9%	46.2
17 横浜市	797,980	107,411	13.6%	473,435	60.0%	208,355	26.4%	46.2
18 神戸市	1,537,272	185,084	12.2%	921,967	60.7%	411,427	27.1%	46.6
19 新潟市	810,157	98,367	12.2%	488,815	60.8%	217,107	27.0%	46.8
20 静岡市	704,989	85,299	12.2%	415,466	59.3%	200,229	28.6%	47.5
21 北九州市	961,286	119,448	12.6%	549,397	58.1%	277,120	29.3%	47.5

* 総数には年齢不詳を含む。

(国勢調査)

データチェック

年少人口（15歳未満）の構成比が最も高いのは広島市で、次いで熊本市、生産年齢人口（15～64歳）の構成比が最も高いのは川崎市で、次いで東京都区部となっています。また、老年人口（65歳以上）の構成比が最も高いのは北九州市で、最も低いのは川崎市となっています。平均年齢は、川崎市が最も低く42.8歳で、最も高いのは静岡市と北九州市の47.5歳となっています。

4

就業者数

●労働力率は大都市で第2位

(単位：人) (平成27年10月1日)

都市名	15歳以上人口		労働力人口			非労働力人口	労働力率 B/A
	総数	うち労働力状態不詳を除く(A)	総数(B)	就業者	完全失業者		
1 東京都区部	8,086,279	6,317,066	4,133,813	3,979,836	153,977	2,183,253	65.4%
2 川崎市	1,252,458	1,076,831	702,036	676,420	25,616	374,795	65.2%
3 名古屋市	1,975,005	1,814,234	1,133,517	1,088,005	45,512	680,717	62.5%
4 福岡市	1,308,732	1,130,637	703,779	667,895	35,884	426,858	62.2%
5 横浜市	681,790	673,121	418,346	401,729	16,617	254,775	62.2%
6 大阪府	2,351,496	1,922,894	1,187,973	1,120,195	67,778	734,921	61.8%
7 広島市	1,009,699	958,584	589,864	566,566	23,298	368,720	61.5%
8 相模原市	625,861	554,670	339,361	324,631	14,730	215,309	61.2%
9 さいた市	1,083,417	1,003,857	611,916	587,220	24,696	391,941	61.0%
10 静岡市	615,695	602,387	366,564	350,852	15,712	235,823	60.9%
11 熊本市	630,147	588,055	357,148	340,861	16,287	230,907	60.7%
12 横濱市	3,233,781	2,869,924	1,738,600	1,673,913	64,687	1,131,324	60.6%
13 岡山市	610,488	589,896	356,420	341,230	15,190	233,476	60.4%
14 京都市	1,267,554	1,160,456	696,917	665,209	31,708	463,539	60.1%
15 新潟市	705,922	680,514	408,058	391,863	16,195	272,456	60.0%
16 仙台市	909,233	846,783	504,146	479,339	24,087	342,637	59.5%
17 千代田市	835,793	758,300	450,623	430,638	19,985	307,677	59.4%
18 札幌市	1,719,050	1,543,984	892,932	844,313	48,619	651,052	57.8%
19 堺市	720,030	673,529	385,895	365,836	20,059	287,634	57.3%
20 神戸市	1,333,394	1,224,099	694,563	659,182	35,381	529,536	56.7%
21 北九州市	826,517	786,714	439,162	415,092	24,070	347,552	55.8%

* 15歳以上人口総数には労働力状態不詳を含む。

(国勢調査)

データチェック

就業者数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順で、川崎市は第6位となっています。労働力率が最も高いのは東京都区部で、次いで川崎市、名古屋市の順となっています。

5

事業所（民営）

●従業員300人以上の事業所の構成比は大都市で第2位

（単位：事業所）（平成28年6月1日）

都 市 名	民営事業所 総数	従業員規模別事業所数				300人以上の 構成比
		1人～29人	30人～299人	300人以上	出向・派遣従業員のみのみ	
1 東京都区部	494,337	452,122	36,850	2,715	2,650	0.549%
2 川崎市	40,934	37,721	2,829	160	224	0.391%
3 大阪市	179,252	165,383	12,179	641	1,049	0.358%
4 横浜市	114,930	105,498	8,454	395	583	0.344%
5 千葉市	29,326	26,514	2,485	99	228	0.338%
6 福岡市	72,284	66,368	5,082	199	635	0.275%
7 相模原市	22,480	20,900	1,419	60	101	0.267%
8 さいたま市	41,330	37,884	3,062	110	274	0.266%
9 名古屋市	119,510	110,398	8,066	308	738	0.258%
10 札幌市	72,451	66,934	4,822	194	501	0.257%
11 熊本市	28,310	26,360	1,732	70	148	0.247%
12 京都市	70,637	66,233	3,915	174	315	0.246%
13 神戸市	66,882	62,191	4,087	162	442	0.242%
14 仙台市	48,419	44,762	3,178	116	363	0.240%
15 北九州市	41,772	38,973	2,480	87	232	0.208%
16 広島市	53,327	49,624	3,231	108	364	0.203%
17 堺市	28,733	26,638	1,908	58	129	0.202%
18 浜松市	35,552	33,249	2,054	67	182	0.188%
19 新潟市	35,510	32,988	2,204	62	256	0.175%
20 岡山市	31,798	29,520	2,024	54	200	0.170%
21 静岡市	35,194	33,051	1,894	56	193	0.159%

（経済センサス-活動調査）

データチェック

事業所数は東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。
また、事業所の従業員規模別をみると、300人以上の事業所の構成比は東京都区部が最も高く、次いで川崎市、大阪市の順となっています。

6

工業（従業員4人以上の事業所）

●製造品出荷額等、従業員1人当たり製造品出荷額等は大都市で第1位

（単位：事業所、人、百万円）（平成26年12月31日）

都 市 名	事業所数			従業員数	製造品出荷額等	従業員1人 当たり製造品 出荷額等
	総数	4～29人	30人以上			
1 川崎市	1,251	1,042	209	48,120	4,548,439	94.52
2 堺市	1,471	1,172	299	50,779	3,821,279	75.25
3 仙台市	518	408	110	15,486	1,088,363	70.28
4 千葉市	422	295	127	20,647	1,234,749	59.80
5 広島市	1,239	977	262	54,007	2,714,562	50.26
6 横浜市	2,479	1,995	484	90,600	4,332,961	47.83
7 神戸市	1,617	1,284	333	63,411	2,831,802	44.66
8 北九州市	1,036	759	277	48,009	2,128,239	44.33
9 静岡市	1,488	1,247	241	45,022	1,758,416	39.06
10 名古屋市	4,112	3,588	524	100,136	3,549,381	35.45
11 岡山市	813	618	195	27,379	962,395	35.15
12 相模原市	941	745	196	35,281	1,224,071	34.69
13 京都市	2,296	1,981	315	62,501	2,109,247	33.75
14 新潟市	1,077	833	244	35,985	1,122,107	31.18
15 大阪市	5,727	5,007	720	117,897	3,634,826	30.83
16 福岡市	793	658	135	20,733	636,524	30.70
17 浜松市	2,104	1,661	443	70,032	2,005,774	28.64
18 さいたま市	970	822	148	26,609	755,894	28.41
19 東京都区部	9,415	8,595	820	150,908	3,209,634	21.27
20 熊本市	492	387	105	18,821	391,349	20.79
21 札幌市	940	749	191	27,665	529,579	19.14

（工業統計調査）

データチェック

製造品出荷額等が最も多いのは川崎市で、次いで横浜市、堺市の順となっています。
従業員1人当たりの製造品出荷額等でも、川崎市は第1位で次いで堺市、仙台市となっています。

7

商業

●1 事業所当たり年間商品販売額は大都市で第12位

(単位：事業所、人、億円)(平成28年6月1日)

都 市 名	卸 売 業			小 売 業			1 事業所当たり 年間商品販売額
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	
1 東京都区部	32,903	745,172	1,631,396	53,679	494,274	150,767	20.58
2 大阪府大阪市	16,524	241,212	369,855	19,811	163,634	45,782	11.44
3 名古屋市	10,289	132,649	238,838	13,855	127,481	34,756	11.33
4 福岡県福岡市	6,557	73,610	116,033	9,330	81,768	21,399	8.65
5 仙台市	4,833	50,022	76,327	6,360	58,492	14,914	8.15
6 札幌市	5,283	54,214	76,662	8,884	99,713	22,899	7.03
7 広島市	4,290	44,798	63,808	7,341	64,691	14,633	6.74
8 さいたま市	2,465	30,787	38,397	5,660	61,354	13,785	6.42
9 千葉市	1,654	20,625	25,704	4,207	46,307	11,119	6.28
10 横浜市	5,032	63,945	66,877	15,193	163,611	40,119	5.29
11 岡山市	2,196	22,882	23,099	4,599	39,842	8,842	4.70
12 川崎市	1,362	17,749	17,945	5,332	56,435	12,287	4.52
13 神戸市	3,419	36,713	37,796	9,389	81,659	18,687	4.41
14 新潟県新潟市	2,335	23,148	22,708	5,650	45,657	9,611	4.05
15 浜松市	2,168	19,179	19,234	5,447	39,025	9,334	3.75
16 熊本市	1,822	17,901	15,120	4,292	35,533	7,800	3.75
17 京都市	3,798	45,046	35,337	10,630	91,017	18,296	3.72
18 静岡県岡崎市	2,518	22,764	21,723	5,507	39,121	7,968	3.70
19 堺市	1,246	12,087	9,914	3,858	36,527	7,632	3.44
20 相模原市	841	6,613	5,311	2,910	33,782	6,637	3.19
21 北九州市	2,200	19,480	16,472	6,793	49,232	10,495	3.00

(経済センサス-活動調査)

データチェック

卸売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。

小売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、次いで大阪市、横浜市の順となっています。

また、卸売業と小売業の年間商品販売額を合わせて算出した1事業所当たり年間商品販売額は、東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。

8

貿易

●外国貿易海上輸出入額の総額は大都市で第7位

(単位：10億円、千トン)(平成28年)

都市名	外国貿易海上輸出入額			海上輸(移)出入貨物数量			
	総 額	輸 出	輸 入	輸出	輸入	移出	移入
1 東京都区部	16,408	5,820	10,587	13,368	34,734	14,296	23,556
2 名古屋市	15,226	10,745	4,480	52,714	75,762	34,094	30,687
3 横浜市	10,685	6,885	3,800	30,625	38,308	14,628	25,563
4 神戸市	8,011	5,110	2,901	23,307	28,419	18,998	27,590
5 大阪府大阪市	7,486	3,144	4,341	9,363	24,749	21,222	26,870
6 千葉市	3,412	754	2,658	2,221	14,014	4,165	8,669
7 川崎市	2,993	1,260	1,733	9,007	44,041	14,993	13,928
8 静岡県岡崎市	2,609	1,748	861	3,569	6,223	1,017	3,420
9 福岡県福岡市	2,406	1,482	924	7,062	10,317	3,326	10,625
10 北九州市	2,068	1,062	1,005	7,215	25,139	31,184	34,989
11 広島市	1,814	1,453	360	4,694	1,782	2,277	3,624
12 堺市	1,603	444	1,159	1,126	22,330	8,291	8,629
13 仙台市	807	259	548	2,179	10,839	9,837	9,789
14 新潟県新潟市	545	114	431	1,020	14,049	7,017	8,281
15 岡山県岡山市	421	46	375	8	-	272	1,268
16 京都市	113	88	25	-	-	-	-
17 熊本市	25	14	11	59	86	169	533
- 札幌市	-	-	-	-	-	-	-
- 仙台市	-	-	-	-	-	-	-
- 相模原市	-	-	-	-	-	-	-
- 北九州市	-	-	-	-	-	-	-

※外国貿易海上輸出入額は税関別貿易額である。

(貿易統計)

(港湾調査)

データチェック

外国貿易海上輸出入額の総額をみると、最も多いのは東京都区部で、次いで名古屋市、横浜市の順となっています。川崎市は第7位となっており、輸出額に比べて輸入額が多

くなっています。

また、外国貿易を示す海上輸移出入貨物数量では、輸出・輸入ともに名古屋市が最も多くなっています。川崎市は輸出货量に比べて輸入量が多く、輸入量は名古屋市に次いで第2位となっています。

●民営借家に住む世帯の割合は大都市で6番目に高い

(単位：世帯)(平成27年10月1日)

都 市 名	住宅に住む 一般世帯	持ち家	借 家			間借り	持ち家 割合	民営借家 割合
			公営・都市再生機 構・公社の借家	民営の借家	給与住宅			
1 福岡市	753,984	282,648	64,562	374,695	26,045	6,034	37.5%	49.7%
2 札幌市	912,774	447,596	36,967	398,979	17,972	11,260	49.0%	43.7%
3 東京都区部	4,723,233	2,131,735	308,212	2,060,441	155,316	67,529	45.1%	43.6%
4 仙台市	491,762	235,969	18,961	213,631	20,640	2,561	48.0%	43.4%
5 大阪市	1,333,086	586,551	140,208	569,328	26,401	10,598	44.0%	42.7%
6 川崎市	672,731	331,414	28,951	283,924	22,482	5,960	49.3%	42.2%
7 熊本市	311,342	161,091	18,860	119,491	9,365	2,535	51.7%	38.4%
8 京都市	696,570	373,990	38,180	266,152	11,805	6,443	53.7%	38.2%
9 名古屋	1,037,072	499,576	99,662	395,215	35,034	7,585	48.2%	38.1%
10 広島市	521,769	278,043	20,467	197,556	20,503	5,200	53.3%	37.9%
11 岡山市	304,753	172,044	6,997	113,598	9,437	2,677	56.5%	37.3%
12 相模原市	307,898	187,880	11,808	100,227	5,320	2,663	61.0%	32.6%
13 北九州市	417,333	231,109	45,821	126,823	10,357	3,223	55.4%	30.4%
14 さいたま市	523,782	325,892	18,059	158,150	17,552	4,129	62.2%	30.2%
15 横浜市	1,605,481	970,366	94,509	482,878	43,227	14,501	60.4%	30.1%
16 浜松市	304,552	197,170	8,067	89,571	7,654	2,090	64.7%	29.4%
17 新潟市	317,986	209,797	6,937	92,995	6,707	1,550	66.0%	29.2%
18 静岡市	282,133	179,356	10,596	82,077	7,880	2,224	63.6%	29.1%
19 神戸市	694,641	399,926	82,390	192,661	14,340	5,324	57.6%	27.7%
20 千葉市	409,653	250,270	40,376	105,227	11,440	2,340	61.1%	25.7%
21 堺市	345,467	207,603	51,600	77,620	6,118	2,526	60.1%	22.5%

(国勢調査)

データチェック

住宅に住む一般世帯のうち、持ち家に住む世帯の割合が最も高いのは新潟市で、次いで浜松市、静岡市となっており、川崎市は15位となっています。

一方、民営借家に住む世帯の割合は、福岡市が最も高く、次いで札幌市、東京都区部となっており、川崎市は6位となっています。

消費者物価地域差指数

●消費者物価地域差指数(総合)は大都市で最も高い

都 市 名	平成25年平均 (51市平均=100)		平成26年平均 (全国=100)		平成27年平均 (全国=100)		平成28年平均 (全国=100)	
	総合	食料	総合	食料	総合	食料	総合	食料
1 川崎市	105.4	104.4	105.0	101.7	104.4	101.5	105.4	102.5
2 東京都区部	105.9	104.9	106.1	103.9	104.3	103.2	105.2	103.4
3 横浜市	106.0	105.9	104.8	103.5	103.9	102.9	104.9	102.9
4 相模原市	...	...	...	...	103.6	104.5	104.0	104.6
5 さいたま市	103.3	102.5	103.0	102.2	103.2	101.4	103.1	102.0
6 神戸市	102.2	102.4	101.3	102.4	101.6	101.4	101.5	100.4
7 京都市	101.2	100.7	101.3	100.9	100.8	100.6	100.9	100.6
8 大阪市	100.6	100.6	101.2	100.6	101.0	99.9	100.7	99.7
9 千葉市	99.1	101.0	100.0	100.3	100.2	100.6	100.7	101.6
10 堺市	100.6	101.3	100.6	101.7	100.5	100.9	99.9	99.8
11 名古屋市	99.1	98.4	99.9	100.1	99.7	99.4	99.4	98.9
12 新潟市	99.1	98.9	99.0	99.5	99.5	101.0	99.3	101.0
13 静岡市	100.0	99.2	99.3	99.6	99.3	99.8	99.1	99.2
14 札幌市	100.2	97.9	98.7	99.5	98.7	99.9	99.1	99.7
15 広島市	99.8	101.3	98.5	100.7	99.3	101.4	99.0	101.7
16 仙台市	98.3	97.6	98.4	97.4	98.5	97.1	98.7	97.4
17 熊本市	100.0	99.8	98.9	101.2	98.3	101.7	98.6	101.2
18 岡山市	100.3	100.3	99.1	101.8	98.9	100.8	98.5	100.4
19 浜松市	98.4	97.2	97.8	98.4	97.6	98.7	97.7	98.4
20 福岡市	97.5	94.7	97.7	95.7	98.3	96.9	97.6	96.2
21 北九州市	96.6	97.4	97.1	98.3	97.8	98.3	97.2	97.8

*51市とは都道府県庁所在市(東京都については東京都区部)及び政令指定都市(川崎市、浜松市、堺市及び北九州市)である。

*平成26年から全国の平均を基準(=100)とした年平均の指数となっている。

データチェック

平成28年の消費者物価地域差指数(全国平均を100とした場合の地域ごとの年平均指数)をみると、総合では川崎市が最も高く、次いで東京都区部、横浜市の順となっており、食料では相模原市が最も高く、次いで東京都区部、横浜市と続き、川崎市は4位となっています。

また、平成28年平均の総合で全国平均を下回っているのは、名古屋市、堺市、新潟市など12市となっており、食料では大阪市、札幌市、仙台市など9市となっています。

11

市民経済計算

●1人当たり市民雇用者報酬は大都市で第4位

(単位：百万円)(平成26年度)

都 市 名	市 民 所 得				雇用者報酬割合	財産所得割合	企業所得割合	1人当たり市民雇用者報酬(千円)
	総 額	雇用者報酬	財産所得	企業所得				
1 東 京 都	60,415,546	34,097,781	5,433,621	20,884,145	56.4%	9.0%	34.6%	6,328
2 名 古 屋 市	8,111,934	5,347,800	689,836	2,074,298	65.9%	8.5%	25.6%	6,068
3 大 阪 市	8,324,557	5,379,652	1,183,257	1,761,648	64.6%	14.2%	21.2%	5,625
4 川 崎 市	4,542,366	3,605,640	244,821	691,905	79.4%	5.4%	15.2%	5,375
5 仙 台 市	3,751,268	2,281,167	177,955	1,292,145	60.8%	4.7%	34.4%	5,191
6 千 葉 市	3,059,269	2,051,195	229,713	778,362	67.0%	7.5%	25.4%	5,074
7 福 岡 市	4,758,300	3,025,843	294,377	1,438,079	63.6%	6.2%	30.2%	4,894
8 さ い た ま 市	3,880,163	2,701,922	231,697	946,544	69.6%	6.0%	24.4%	4,721
9 北 九 州 市	2,670,297	1,793,025	145,074	732,198	67.1%	5.4%	27.4%	4,700
10 神 戸 市	4,656,271	2,888,520	343,423	1,424,329	62.0%	7.4%	30.6%	4,586
11 横 浜 市	11,493,489	7,970,254	969,259	2,553,976	69.3%	8.4%	22.2%	4,563
12 広 島 市	3,374,351	2,392,243	173,133	1,168,975	70.9%	5.1%	34.6%	4,512
13 新 潟 市	2,293,494	1,522,608	129,023	641,863	66.4%	5.6%	28.0%	4,364
14 札 幌 市	5,081,151	3,686,319	269,699	1,125,133	72.5%	5.3%	22.1%	4,359
15 岡 山 市	1,993,655	1,329,848	125,345	538,462	66.7%	6.3%	27.0%	4,321
16 京 都 市	4,592,896	2,693,177	244,721	1,654,998	58.6%	5.3%	36.0%	3,723
- 静 岡 市	...	...	...	...	...	...	...	...
- 堺 市	...	...	...	...	...	...	...	...
- 浜 松 市	...	...	...	...	...	...	...	...
- 相 模 原 市	...	...	...	...	...	...	...	...
- 熊 本 市	...	...	...	...	...	...	...	...

データチェック

市民所得総額をみると東京都が最も多く、次いで横浜市、大阪市の順となっており、川崎市は第9位となっています。1人当たり市民雇用者報酬は東京都が最も多く、次いで名古屋市、大阪市の順となっており、川崎市は第4位となっています。

また、雇用者報酬割合をみると川崎市が最も高く、次いで札幌市、広島市の順となっています。

12

治安及び災害

●人口10万人当たりの交通事故発生件数が最も少ない

(単位：件)(平成28年)

都市名	交通事故発生件数		刑法犯認知件数及び検挙件数		
	総数	人口10万人当たりの交通事故発生件数	認知件数	検挙件数	人口1,000人当たりの認知件数
1 川 崎 市	3,300	221.6	9,227	3,571	6.2
2 東 京 都 区 部	21,105	225.1	100,644	27,116	10.7
3 新 潟 市	1,922	238.0	6,589	2,534	8.2
4 横 浜 市	10,081	270.2	21,454	9,256	5.7
5 札 幌 市	5,407	276.1	16,259	6,229	8.3
6 千 葉 市	2,959	303.9	10,254	2,719	10.5
7 京 都 市	4,909	332.9	13,830	3,605	9.4
8 広 島 市	4,039	337.6	8,966	3,183	7.5
9 さ い た ま 市	4,353	341.3	12,456	3,535	9.8
10 仙 台 市	3,787	349.1	8,657	2,525	8.0
11 相 模 原 市	2,638	365.6	5,244	2,050	7.3
12 熊 本 市	3,101	419.3	5,413	2,612	7.3
13 大 阪 市	12,173	450.5	55,295	11,212	20.5
14 神 戸 市	3,997	477.2	10,089	2,167	12.0
15 岡 山 市	7,332	477.4	15,721	5,066	10.2
16 名 古 屋 市	4,104	569.5	6,293	2,315	8.7
17 福 岡 市	13,585	589.4	28,618	9,317	12.4
18 新 潟 市	10,633	684.3	18,813	6,310	12.1
19 静 岡 市	5,537	789.0	4,517	1,794	6.4
20 北 九 州 市	7,729	808.3	9,191	3,779	9.6
21 浜 松 市	8,376	1,050.7	4,930	2,288	6.2

* 交通事故発生件数は、道路交通法の「道路上」での法規違反による事故数を集計したものである。

* 検挙件数は、発生地計上によるものである。

* 平成28年10月1日現在の人口で算出

データチェック

人口10万人当たりの交通事故発生件数は川崎市が最も少なく、次いで東京都区部、新潟市の順となっています。また、人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は横浜市が最も少なく、次いで川崎市、浜松市の順となっています。

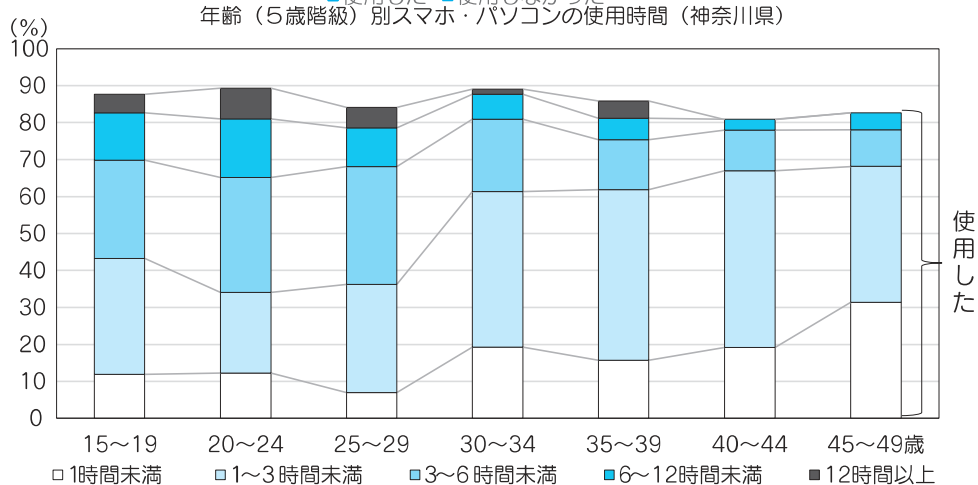
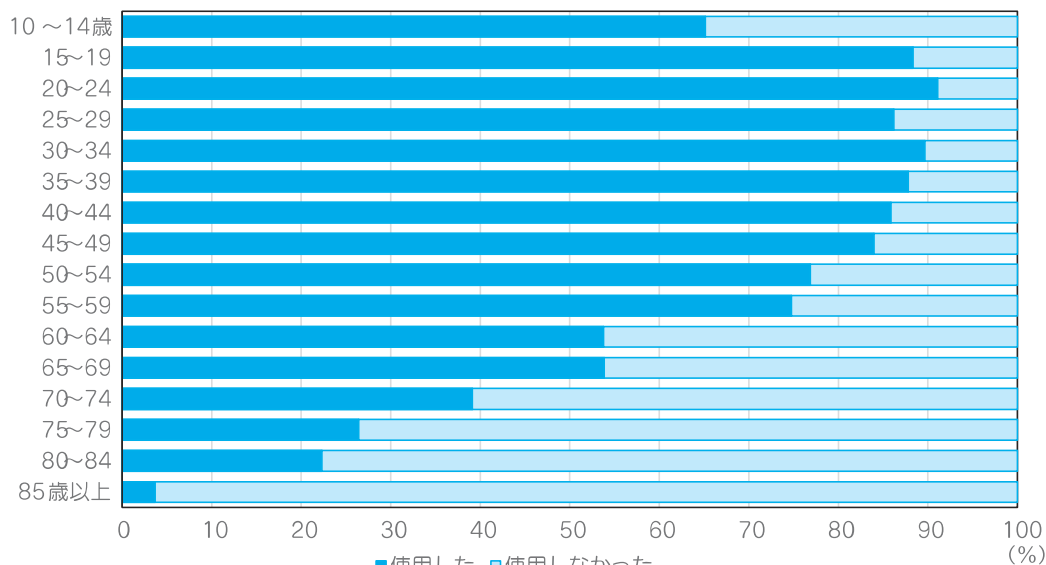


●20代前半の9割超がスマホ・パソコンを使用

神奈川県は10代後半から40代の8割以上でスマホ・パソコンを使用しています。特に20代前半では9割を超えています。これらの年代について、1日当たり平均使用時間をみると、20代では3～6時間未満の割合が最も高く、その他の年代では1～3時間未満の割合が最も高くなっています。

注) 社会生活基本調査では10歳以上を対象としています。平成28年10月15日から10月23日までの9日間のうちから、調査区ごとに指定された連続する2日間についての状況です。

年齢（5歳階級）別スマホ・パソコンの使用状況（神奈川県）



●神奈川県民の生活パターン

起床時刻、朝食開始時刻、夕食開始時刻、就寝時刻すべてで全国平均より遅くなっていますが、夕食開始時刻、就寝時刻では、全国平均との差がより大きくなっています。



《平均起床時刻》
全国 6:32
神奈川県 6:31



《平均夕食開始時刻》
全国 19:06
神奈川県 19:19

《平均朝食開始時刻》
全国 7:08
神奈川県 7:10



《平均就寝時刻》
全国 23:15
神奈川県 23:27

